令和３年２月 16 日 絵本贈呈式

２月 16 日（火）11：00～11：30　　草津市役所 3F 応接室

滋賀産業新聞掲載（令和3年2月18日）

NPO草津が市教育事業支援

市内就学前79施設へ 絵本を寄贈

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会」（森川守理事長・㈱千商代表取締役）は16日、拠点とする草津市の教育事業への支援として、市内の保育所・幼稚園・こども園」などの就学前教育保育施設全79施設を対象に、計355冊の絵本を寄贈した。

同法人は2008年の設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛参画、教育事業、また昨年は新型コロナウイルス感染症対策支援への寄付など幅広い支援活動を草津市に対し行っている。教育事業へは要望を聞いて必要とされる教材などを10年から毎年寄贈、これまでに幼稚園・保育所へ絵本、小中学校へボールや地図、かまどベンチの設置、空気清浄機などを贈ってきた。低年齢児施設への寄贈は施設の規模や必要な絵本の種類に応じ最適な冊数・中身の本を贈り例年喜ばれており、待望されている状況に応えて7度目となる今回は寄贈冊数を例年の5割増し以上に増やした。

市役所での贈呈式に出席した（左から）武元副理事長、辻副理事長、感謝状を持つ守野副理事長、目録を手にする橋川市長、木村部長、山際課長

草津市役所で行われた贈呈式には、草津市より橋川渉市長、木村博子ども未来部長、山際嘉一郎幼児課長など就学前教育関連職員ら、NPO草津からは辻由夫副理事長、守野洋史副理事長、武元港副理事長が出席した。

森川理事長に代わり守野副理事長が「教育環境の充実のため役立てて頂ければ幸いです。防災・安全・福祉・教育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と理事長の言葉を伝え、橋川市長に贈呈目録を手渡した。

橋川市長は「このように多数の本の寄贈で毎年欠かさず本市の保育環境の向上に寄与頂くのみならず、昨年は新型コロナウイルス対策にも多額の寄贈を頂き、改めて深く感謝申し上げます。乳幼児期の良い絵本との出会いは豊かな情操を育み、草津の子供たちが心豊かに生きる力の基礎となる。建設活動のみならず絵本による人づくりでも草津の未来へ大きく貢献頂き感謝したい」との言葉とともに感謝状を贈り、守野理事長が代理で受け取った。

贈呈式後、絵本は情操教育に欠かせない教材として各施設に早々に配布される。